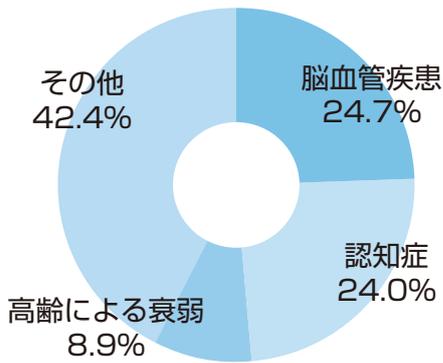


脳卒中とは、脳の血管が詰まる脳梗塞と血管が破れて出血する脳出血・くも膜下出血などの総称で、ある日突然症状が表れます。

現在、脳卒中は寝たきり（要介護5）の原因となる第1位の疾患で、全体の24・7%を占めています（左図）。生き生きとした健康寿命を保つためにも、脳卒中の予防・早期発見は重要です。

寝たきり（要介護5）の主な原因



出典：2019年国民生活基礎調査

シリーズ 第160話

脳卒中について
早期発見のポイント

4つの早期発見ポイント

脳卒中の可能性が高いとされる初期症状の早期発見のポイントは、次の4つです。

①顔
にっこり歯を見せるように「イー」と言ってみてください。片方だけ口角が下がっていませんか？



②腕
手のひらを上に向けて両腕を肩の高さまで挙げてみましょう。片手が下がりませんか？ペンや箸が持てますか？



③言葉
例「今日はいい天気ですね」と言ってみましょう。言葉はスムーズですか？他人の言葉は理解できていますか？会話中や電話でいつもと違うなど感じることはありませんか？



④時間
症状を発見したら、直ぐに時間を確認しましょう。時間によって治療に使える薬が変わります。



市民病院
5階病棟 運営課長
おのだ ちえ
脳卒中リハビリテーション看護
認定看護師

▽市民病院（代表）

TEL 22・2171

ID 751376216

（ほのか診察室）

いつもと違う、何かおかしいと思ったら、様子を見るのではなく、①顔、②腕、③言葉、④時間を確認し、できるだけ早く医療機関を受診しましょう。脳卒中の治療は、時間との闘いと言われています。発症から4時間30分以内を受診すると、治療の選択肢が増え、後遺症を軽く抑えられる可能性があります。

脳卒中の予防、症状や後遺症など心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

看護相談外来

市民病院は、看護相談外来を開設しています。

患者さん、その家族の方のさまざまな悩みや困りごとを専門的資格や知識、技術を持った認定看護師などが相談に乗ります。お気軽にご相談ください。